

化学療法計画書

ID					
氏名					
生年月日					
実施部署			発行日		
身長 (cm)	160	体重 (kg)	50	体表面積 (m ²)	1.50

指示医師:		
指導医師:		
投与開始予定日:	年	月 日
投与終了日:	年	月 日

病名	非小細胞肺癌
治療法	キイトルーダ+アリムタ併用維持療法

	1	2
抗癌剤・商品名	キイトルーダ	アリムタ
規格	100mg/4mL	100mg 500mg
一般名	ペムブロリズマブ	ペトレキセド
一日投与量(規定)	200mg/body	500mg/m ²
患者情報から算出した一日投与量	200 mg	750.56 mg
実際の投与量	mg	750 mg
		499.6 mg/m²
投与日	day1	
1クール期間	21日間	
予定クール数		
検査スケジュール	原則的に投与日にiCI投与前セット 検査データに応じて臨時に検査実施	

適応基準	扁平上皮癌を除く非小細胞肺癌
推奨経口剤	○このレジメンは軽度催吐性リスク群です。推奨される経口制吐剤はありません。
禁忌	1.本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者 2.高度な骨髄抑制のある患者 3.妊婦又は妊娠している可能性のある婦人
中止基準	投与前の好中球数:1000/mm ³ 未満、血小板数:50,000/mm ³ 未満 骨髄機能が回復するまでは投与延期 (CTCAE ver4.0における Grade3 の血液毒性に準拠)
副作用	<p>●キイトルーダ</p> <p>重大 1.間質性肺疾患 2.大腸炎、重度の下痢 3.皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群)、多形紅斑 4.類天疱瘡 5.神経障害 6.肝機能障害、肝炎、硬化性胆管炎 7.甲状腺機能障害 8.下垂体機能障害 9.副腎機能障害 10.1型糖尿病 11.腎障害 12.膵炎 13.筋炎、横紋筋融解症 14.重症筋無力症 15.心筋炎 16.脳炎、髄膜炎 17.免疫性血小板減少性紫斑病 18.溶血性貧血 19.赤芽球癆 20.Infusion reaction</p> <p>その他 (10%以上)下痢、悪心、疲労、そう痒症、発疹 (1~10%未満)貧血、好中球減少、血小板減少、白血球減少、リンパ球減少、血中TSH増加、血中TSH減少、流涙増加、眼乾燥、嘔吐、便秘、口内乾燥、腹痛、口内炎、上腹部痛、無力症、発熱、末梢性浮腫、インフルエンザ様疾患、粘膜の炎症、悪寒、倦怠感、食欲減退、低マグネシウム血症、関節痛、筋肉痛、背部痛、四肢痛、筋痙攣、頭痛、味覚異常、浮動性めまい、末梢性感覚ニューロパチー、錯感覚、血中クレアチニン増加、呼吸困難、咳嗽、脱毛症、皮膚乾燥、斑状丘疹状皮疹、尋常性白斑、紅斑、湿疹、体重減少</p> <p>●アリムタ</p> <p>重大 1.骨髄抑制 2.感染症 3.間質性肺炎 4.ショック、アナフィラキシー 5.重度の下痢 6.脱水 7.腎不全 8.中毒性表皮壊死融解症(TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群)</p> <p>その他 (20%以上または頻度不明)食欲不振、悪心、嘔吐、大腸炎、AST上昇、ALT上昇、血中LDH上昇、血中Al-P上昇、発疹、倦怠感、発熱、CRP上昇、放射線照射リコール反応、溶血性貧血 (5~20%)血糖値上昇、頭痛、めまい、感覚神経障害、ほてり、便秘、下痢、口内炎・咽頭粘膜炎症、消化不良、ビリルビン上昇、γ-GTP上昇、そう痒症、アルブミン低下、電解質異常、尿潜血陽性、蛋白尿、総蛋白減少、BUN上昇、疲労、体重減少、熱感、白血球増多、好中球増多、血小板増多、浮腫</p>
備考	アリムタ開始1週間前より葉酸(パンピタン末)0.5gの連日経口内服およびビタミンB12 1mg(メチコバル2A)9週間毎の筋注を行うこと

キイトルーダ+アリムタ併用維持療法 観察記録

所要時間: 1時間30分

氏名: ID() 年齢: (才)

施行日	クール	回目	施行前内服薬()	入外()
医師	指示医師:		抗癌剤用量 計画書設定量 計画書設定量より減量 計画書設定量より増量 減量・増量理由	抗がん剤以外の薬剤の変更・追加
	キイトルーダ (mg) 一般名(ペムプロリズマブ)	アリムタ (mg) 一般名(ペメトレキセド)		
<input type="checkbox"/> 投与決定 <input type="checkbox"/> 未決定 <input type="checkbox"/> 延期・中止				投与開始時間 調剤 実施
投与指示	本体	側管		
	生食 250mL		1時間30分かけて点滴【167mL/hr】	
		生食100mL+キイトルーダ	30分かけて点滴【200mL/hr】 ※フィルター付き点滴ラインを使用	
	生食 100mL +ラモセトン1A +デカドロン 2 A		30分かけて点滴【200mL/hr】	
		生食100mL+アリムタ	10分かけて点滴【500mL/hr】	
本体終了後抜去				